

ASUNARO 	第六号	発行 横浜商科大学留学生会 所在地 〒 230-8577 横浜市鶴見区東寺尾丁目11-1 編集人 横浜商科大学留学生会 盧 凡
-------------	-----	---

留学生委員長として

教授 村上 一郎



前留学生委員長、尾関先生より引き継ぎ、昨年10月1日より委員長に就任した村上です。最初に留学生の皆さんとお会いしたのは、前留学生会長・郭 文輝君の指揮のもと、日本人の他のゼミの学生諸君の協力により、六号館学生食堂で留学生フォーラムが盛大に行われた時でした。

内容は、異文化料理対決のゲームとして、各グループに分かれた学生達によるオリジナルの寿司制作でした。寿司に使われるタレは醤油、ソース他にも「変わった味を競いあいました。先生方が審査員となり付け・見た目、アイレ、総合点により選考上がりとなりました。

次は12月に留学生区にある横浜市国際した留学生全員の自卒業後の進路の説明



れる具材は多種多様。つス、ケチャップ、香醋、もの」が色々あり、その私を始めとし参加されたり、味覚だけでなく、盛デアの斬新性等を取り入るもので、大変な盛り

の卒業パーティーが鶴見学生会館で行われ、参加己紹介の後、4年生から、や後輩にアドバイスをし

てもらい楽しい時間を過ごしましたが、参加者がとても少数であったことが残念でした。

次回からは連絡を早くするよう改善し、多勢の留学生が参加をしてくれることを望みます。

新年度（平成16年度）には新入生30名を迎え（留学生総数92名）、新留学生会長に葛 文海君を迎えた最初の行事は、新入生歓迎ハイキングとして生麦にあるキリンビール工場と鶴見駅近くの総持寺見学でした。開学記念日の4月18日当日は晴天に恵まれ、参加者50名はつるみ校舎に集合し、徒歩でキリンビール工場にむかいました。途中、生麦事件碑を見学し、その後工場に到着しました。工場スタッフの案内で工場内を見学しましたが、当日は休日ということで残念ながら製造工程は稼働していませんでしたが、見学の終了後にはビールやおつまみが配付され、さらにはビールを美味しく飲むための注ぎ方が伝授されました。

その後、工場を後にして総持寺にむかい境内、堂内を巡り、案内していただいた僧侶の方から建物の歴史や、仏教のお勤め等、為になる説明を享け留学生一同も神妙に、その話を聞き入っていました。

6月26日・27日には毎年恒例になっている一泊二日の留学生課外授業を企画し、日本人学生を交え、総勢で65名の参加人数により御殿場の前島秀章美術館から河口湖、翌日は青木ヶ原にある富岳風穴・鳴沢氷穴、富士山五合目という行程での見学旅行が行われました。日本の風景の象徴である富士山の雄大さには、留学生達も感動していました。富士山を背景に留学生、日本人学生ともに国際交流・理解にも一役買った有意義な課外授業となったようでした。

このような行事を経て、留学生の皆さんは大きな期待をもって日本に留学して来たことが感じとれました、そのような希望を消さないためにも、私から留学生諸君に期待する事は学内および学外における行事やボランティア活動等への積極的な参加をしていただきたいということです。そのための大学での国際交流活動や留学生会の活性化のために私も一所懸命、皆さんに協力をしたいと思っております。これからもよろしく願います。

